

第6回津別町議会定例会『行政報告』

はじめに、寄附についてであります。8月29日、津別病院名誉院長近藤益夫様より、離町されるにあたり町の振興発展に役立てて欲しいと、100万円のご寄附をいただいたところであります。

また、9月6日、水上時子様より、子どもたちのためにと80万円のご寄附をいただいたところであり、お二方のご厚志に深く感謝を申し上げますとともに、ご趣旨に沿って有益に使用させていただく所存であります。

次に、公設民営塾夏期講習会についてであります。議員各位のご理解のもと、議会議事堂本会議場を会場に、7月25日から8月17日までの19日間、津別高校生25名、町外の高校へ通う津別在住の高校生11名計36名が入塾し、延べ376名が受講しました。受講生や保護者に対してアンケートを行ったところ、特に受講生の先生の指導に対する満足度は100パーセントであり、この結果を踏まえ、冬期講習会に向け、更に内容の充実に努めて参ります。

次に、北海道立林業大学校の誘致活動についてであります。7月31日、北海道において、有識者よる林業人材育成機関のあり方の検討が始められたところですが、誘致に取り組む地域は、単独地域のほか、振興局単位や流域を単位とする広域的な動きも出てきているところ。広域で取り組む誘致活動は、有効性を評価しやすいとの情報もあることから、8月30日、津別町誘致期成会総会を開催し、これまでの単独誘致活動からオホーツク地域全体での誘致要請を目指し、その中で本町の優位性を強調する活動を展開する方針を確認したところ。です。

今後につきましては、オホーツク地域への誘致が叶うよう、関係各機関と連携し、要請活動に取り組んで参ります。

次に、まちなか再生事業関連についてであります。「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」の策定につきましては、8月6日から8日の間に壮瞥町、新ひだか町、訓子府町を視察し、8月22日から25日の間には、岩手県住田町と紫波町、高知県梶原町の役場複合庁舎の視察を所管の委員会とともに実施したところですが、それぞれの地で得た知識を今後の基本計画の策定に生かしていく考えであります。

また、筑波大学大澤研究室のゼミ合宿が、今年も8月9日から

30日の間に実施され、教官3名、学生12名、インターン生1名計16名が来町し、延べ204日の滞在となりました。

ゼミ合宿の中心となる津別高校との高大連携ワークショップは、8月19日と20日の両日、高校生13名が参加し実施されました。最終日には、一般公開による発表会が開催され、参加した約50名の方による投票が行われ、最優秀賞を獲得した班が、11月4日に筑波大学の学園祭で行われる高大連携シンポジウムに出席し、発表することになっています。

また、ゼミ合宿の期間中、大学生による各種調査研究や町民との交流が積極的に行われ、研究成果等につきましては、今後のまちづくり生かしていく考えであります。

次に、弾道ミサイル等緊急事態におけるサイレンの吹鳴についてであります。8月29日午前5時57分頃、北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、北海道上空を通過する可能性があるとして、政府の全国瞬時警報システム「Jアラート」により、緊急事態情報が配信されました。こうしたことから本町では、今回のようにJアラートによる緊急事態情報が配信された場合、町民に対する注意喚起のため、津別消防庁舎、活汲第2分団詰所、本岐第3分団詰所に設置しているサイレン塔から、9月1日午後3時以降、一斉にサイレン

を吹鳴できる体制を整えたところです。その後、9月15日午後0時5分に、サイレン吹鳴を試行することとじていましたが、同日午前6時57分頃、再び北朝鮮からミサイルが発射され、Jアラートによる配信が行われたことから、3箇所のサイレン塔からサイレンを吹鳴したところです。

現在、9月15日午後0時5分に試行実施したサイレン吹鳴の効果検証を行っているところであり、結果を見た上で対策を補強していくこととじています。

次に、津別町赤十字奉仕団設立20周年事業についてであります。平成9年に発足し、今年で20周年を迎えたことから、9月2日に記念事業として「児童館交流会」が行われました。日本赤十字社北海道支部から橋田雄一事業部長が来町し、20年間の奉仕団活動に対して、日本赤十字社から「^{きんしよくゆうこうしょう}金色有功章」が土屋けい子委員長に授与されました。交流事業には児童31名が参加し、赤十字の歴史や奉仕団活動、災害時の対応などを学んだ後、奉仕団員による炊き出し体験に参加し、炊き上がったご飯と一緒に全員でジンギスカン鍋を囲み交流が行われたところです。

これまでの赤十字奉仕団による献身的な地域貢献活動に対しまして、改めて敬意を表しますとともに、引き続き奉仕団の活動を支援

して参る所存であります。

次に、高齢者に対するお祝いについてであります。9月20日、今年度に満百歳を迎えられる古澤秀夫様、才川ハツエ様、梶田要様の3名を訪問し、老人の日記念事業として、内閣総理大臣からの祝状と記念品の贈呈を行いました。永年にわたり社会の発展に寄与されてこられましたことに対し感謝申し上げますとともに、今後とも益々のご健勝を願い祝意を表したところであります。

次に、建設工事等の発注状況についてであります。9月12日現在、

- 一般土木工事関係については、町道350号線舗装補修工事
他13件 145,764千円(73.3%)
- 一般建築工事関係については、トレーニング室増築工事
他23件 159,192千円(62.6%)
- 簡易水道・下水道工事関係については、7号汚水幹線マン
ホールポンプ新設工事他11件 95,321千円(59.8%)
- 設計等委託業務関係については、町道369号線災害復旧測
量設計業務他28件 238,951千円(96.2%)

であり、平成29年度予算分について総額639,228千円で、74.2%の発注率となっており、今後とも適時発注に努めて参り

ます。

なお、今議会におきまして、条例改正案、一般会計・特別会計補正予算案等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げ行政報告といたします。